

沿革

〈中央図書館〉

明治39年	8月5日	私立尾道図書館を久保町（久保町勸商場内）元玉成館跡に開館
大正2年	5月20日	尾道市立尾道図書館設置の件、市議会で議決、私立尾道図書館の市移管を決定
大正3年	7月21日	尾道市立尾道図書館の設置認可
大正4年	3月14日	尾道市立尾道図書館を久保町265番地2に開館
大正15年頃		尾道市関係古文書類を整理し、写本を開始
昭和3年	2月	経営施設優秀の故を以って、文部省より表彰状及び表彰金を受ける。
昭和11年	5月	所蔵図書資料分類整理にNDC及びNCR採用、約4か年にて切換完了
昭和27年	3月	尾道市立図書館にCIE図書館尾道分室を設置（但し尾道商工会議所内開館）
昭和27年	5月	講和条約発効に伴いCIE図書館尾道分室をアメリカ文化センター（ACC）尾道分館に改称
昭和28年	4月	ACC尾道分館を尾道市立図書館内に移転
昭和33年	10月1日	ACC尾道分館を尾道市立図書館附属アメリカ資料室と改称
昭和35年	10月20日	移転改築工事に着手
昭和36年	2月11日	尾道市立図書館協議会において尾道市立図書館後援会の結成を決定
昭和36年	4月20日	尾道市久保町360番地に新館を開館
昭和40年	3月14日	開館50周年記念展示会（尾道市立図書館50年の歩み回顧展、林芙美子展、
	～23日	外国貨幣展）を開催
昭和41年	4月25日	児童図書館新築工事に着工
昭和41年	8月1日	児童図書館の開館
昭和42年	5月11日	広島県立図書館より同館移動図書館用図書の借用を開始し、貸出文庫（2支所7連絡所に配本）を充実
昭和42年	8月8日	尾道市連合婦人会からの要望により家庭文庫に児童用図書の配本を開始
昭和42年	11月13日	尾道市立図書館附属アメリカ資料室を廃止
昭和43年	6月1日	全支所（3）、全連絡所（8）に貸出文庫の配本を開始
昭和43年	11月1日	原田支所及び全連絡所廃止に伴い同地区の農協（11）、吉和漁協に貸出文庫事務を委託
昭和47年	4月1日	広島県立図書館の移動図書館用図書の借用を中止

昭和48年	3月31日	増築書庫の一部完成
昭和49年	4月20日	尾道ライオンズクラブから移動図書館車1台（5月29日改造完成受領） 及び移動図書館用図書の寄付を受ける。
昭和49年	12月10日	移動図書館開設（家庭文庫を廃止）
昭和54年	11月1日	中央公民館の図書室を借りて児童対象の「栗原地域文庫」を開始
昭和56年	3月25日	尾道市立図書館サービス網計画並びに本館の建築計画を専門機関に調査を依頼し、調査報告書の成案なる。
昭和60年	3月12日	新図書館建設用地として市民病院跡（3,618.64 m ² ）を購入
昭和60年	10月19日	開館70周年記念行事（講演会、本の展示、館内サークル活動の作品展） 開催
平成元年	1月25日	教育文化センター（仮称）工事安全祈願祭
平成2年	7月19日	モニュメント除幕式
平成2年	7月27日	尾道市立図書館（尾道カルチャープラザ）新館完成
平成2年	11月8日	コンピュータシステム（NEC・LiCS-RI）導入の新館を開館
平成8年	2月17日	新館開館5周年記念行事鷹羽狩行講演会開催
平成9年	8月1日	因島市、福山市、府中市、向島町、御調町、瀬戸田町と個人を対象として広域利用を開始
平成10年	10月1日	三原市と個人を対象とした広域利用を開始
平成12年	4月1日	少子化対策臨時特別交付金で移動図書館車購入
平成12年	11月8日	新館開館10周年記念誌「尾道と近代・現代の文学」を発行
平成13年	9月1日	沼隈町と個人を対象とした広域利用を開始
平成17年	3月1日	御調町・向島町との合併に伴い、新コンピュータシステム（NEC・LiCS-RⅢ）を導入し、みつぎ子ども図書館とネットワーク化
平成17年	3月28日	御調町・向島町との合併により尾道市立中央図書館に改称
平成18年	3月	因島図書館（23日）・瀬戸田図書館（1日）とネットワーク化
平成18年	7月1日	開館時間延長及び祝日開館の実施
平成18年	11月8日	駐車場増設
平成20年	3月31日	栗原地域文庫廃止
平成22年	7月1日	館内整理日廃止（全館）
平成25年	4月1日	視聴覚資料を1階へ移設
平成25年	4月23日	平成25年度子ども読書活動優秀実践校・図書館・団体（個人） 文部科学大臣表彰
平成25年	6月27日	システム更新、利用者カードをリライト式カードに変更
平成27年	3月18日	開館100周年記念式典・講演会開催

平成27年	4月	1日	指定管理者制度導入（NTTグループ・啓文社・新和ビルサービス共同企業体を指定管理者に指定）開館時間延長及び祝日開館の実施
平成27年	6月以降		開館100周年記念事業（なつかしの映画ポスター等チャリティー即売会、平山郁夫美術館講演会、尾道大学講師トークイベント、図書館ライブ等）
平成29年	6月	1日	「国立国会図書館 図書館向けデジタル化資料送信サービス」の閲覧の利用開始
平成30年	6月	12日	システム更新に伴い、尾道市立図書館ホームページをリニューアル
令和2年	4月	1日	指定管理者制度再導入（NTTグループ・啓文社・新和ビルサービス共同企業体を指定管理者に再指定）
令和3年	3月	16日	尾道市電子図書館提供開始

〈みつぎ子ども図書館〉

平成14年	11月	9日	御調町立みつぎ子ども図書館「すくすく」開館
平成17年	3月	28日	合併により、尾道市立みつぎ子ども図書館「すくすく」に改称
平成20年	4月	23日	子どもの読書活動優秀実践図書館として「文部科学大臣賞」受賞
平成25年	6月	27日	システム更新、利用者カードをリライト式カードに変更
平成27年	4月	1日	指定管理者制度導入（NTTグループ・啓文社・新和ビルサービス共同企業体を指定管理者に指定）祝日開館の実施
令和2年	4月	1日	指定管理者制度再導入（NTTグループ・啓文社・新和ビルサービス共同企業体を指定管理者に再指定）
令和3年	3月	16日	尾道市電子図書館提供開始

〈因島図書館〉

昭和48年			因島市市民会館内に図書室設置
平成5年	3月		因島市立図書館新築工事着工、平成6年8月竣工
平成6年	11月	3日	因島市立図書館開館（因島市自治振興事業団に管理委託）
平成8年	9月		図書館用軽自動車（ライトバン）を配置
平成8年	10月		移動図書館開始（月1回）
平成12年	10月		コンピュータの新機種設置
平成15年	3月		移動図書館車（しまなみ文庫号）配置
平成18年	1月	10日	合併により、尾道市立因島図書館に改称
平成18年	4月	1日	指定管理者制度導入（尾道市自治振興事業団を指定管理者に指定）

平成20年	4月	1日	休館日の変更及び祝日開館と移動図書館車の瀬戸田町への巡回実施
平成24年	4月		3階会議室閉鎖
平成25年	6月27日		システム更新、利用者カードをリライト式カードに変更
平成26年	4月	1日	指定管理者制度を解除し、尾道市直営に変更
平成26年	11月	3日	開館20周年記念講演会
平成27年	4月	1日	指定管理者制度導入（NTTグループ・啓文社・新和ビルサービス共同企業体を指定管理者に指定）祝日開館の実施
令和元年	11月24日		開館25周年記念クラシックコンサート
令和2年	4月	1日	指定管理者制度再導入（NTTグループ・啓文社・新和ビルサービス共同企業体を指定管理者に再指定）
令和3年	3月16日		尾道市電子図書館提供開始

〈瀬戸田図書館〉

平成18年	1月10日		合併により、瀬戸田町中央公民館図書室を尾道市立瀬戸田図書館として 開館
平成23年	4月	1日	開館時間延長
平成25年	6月18日		
	～7月	1日	閲覧室（キッズスペース）拡張工事実施
平成25年	6月27日		システム更新、利用者カードをリライト式カードに変更
平成25年	7月	2日	リニューアルオープン及び火曜日開館
平成27年	4月	1日	指定管理者制度導入（NTTグループ・啓文社・新和ビルサービス共同企業体を指定管理者に指定）
令和2年	4月	1日	指定管理者制度再導入（NTTグループ・啓文社・新和ビルサービス共同企業体を指定管理者に再指定）
令和3年	3月16日		尾道市電子図書館提供開始

〈向島子ども図書館〉

平成21年	5月	7日	尾道市民センターむかいしま内に、尾道市立向島子ども図書館「わくわく」開館
平成25年	6月27日		システム更新、利用者カードをリライト式カードに変更
平成27年	4月	1日	指定管理者制度導入（NTTグループ・啓文社・新和ビルサービス共同企業体を指定管理者に指定）祝日開館の実施
令和元年	5月12日		開館10周年記念行事（絵本ライブ、おはなしボランティアトークセッション、記念誌『わたしば』発行）

令和 元年 1 月 15 日 尾道市立図書館ボランティア事務局設置

令和 2 年 4 月 1 日 指定管理者制度再導入（NTT グループ・啓文社・新和ビルサー
ビス共同企業体を指定管理者に再指定）

令和 3 年 3 月 16 日 尾道市電子図書館提供開始